

議会だより

もりみつ ななこ
題字は日出小6年 森満 菜々子 さんです



No. 106

平成28年11月30日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135



目次

千年以上の歴史を持つ由緒ある若宮八幡神社の大祭神輿

9月定例会

- 決算特別委員会 2
- 予算常任委員会 4
- 意見書提出・議会運営委員会視察 5
- 委員会報告 6
 - 総務産業常任委員会・福祉文教常任委員会
- 開かれた議会への取り組み 8
- 10人が町政全般を質す 9
 - 一般質問
- 町民の声 20



議員が編集した手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成28年 9月定例会

9月定例会は、町長選挙後の初定例会であるため、例年より2週間遅れの9月21日から10月17日までの会期で開催されました。初日の本会議では、町長の所信表明および行政報告のあと、議案に対する提案理由の説明が行われ、補正予算や条例改正など議案14件、27年度決算認定2件、財政関連の報告2件を27日間にわたり審査し、審査の結果、全会一致で可決・認定しました。

また、最終日に提案された教育長任命の同意案件を8対7の賛成多数で可決した他、請願1件を採択、国や関係部局に対して3件の意見書を提出しました。

一般質問では、本町新町長を迎えて初めての定例会ということもあり、所信表明や選挙公約に関する質問、現在の町政の課題に関する質問を過去最多の10人の議員が行いました。

過去2番目の大型決算規模(27年度決算)

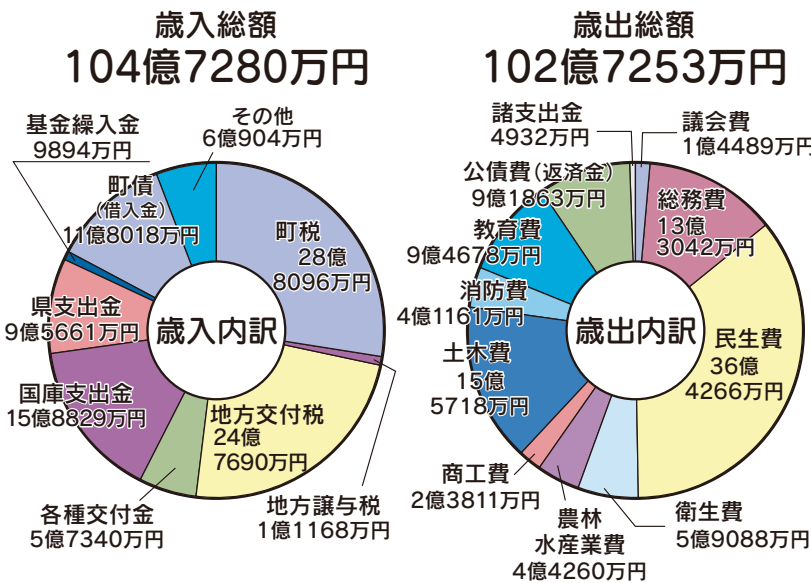
歳入の決算額は、前年度に比べ8億6640万円増額の104億7280万円、平成12年に次ぐ過去2番目の規模となりました。JR陽谷駅整備や中央体育館整備事業などに係る町債が大幅な増額となっております。また、法人税、

地方消費税交付金も増収になったため、財源調整のための繰り入れをほとんど行わず、財源を確保することができました。

歳出の決算額は、前年度に比べ10億1207万円増額の

102億7253万円となっております。陽谷駅整備など普通建設事業費が増加したことに加え、地方創生交付金を財源とした低所得者や子育て世帯へ商品券を交付する事業などの扶助費、物件費の増加が大きな要因となっております。

一般会計 決算内訳



基金(町の預金)の状況

	26年度末現在高	27年度末現在高
財政調整基金	10億9297万円	11億6937万円
減債基金	5億4241万円	6億1771万円
特定目的の基金	5億5388万円	4億9667万円
合計	21億8925万円	22億8378万円

町債(町の借金)の状況

	26年度末現在高	27年度末現在高
一般会計	97億7497万円	101億4928万円
特別会計	45億8732万円	44億1836万円

特別会計歳出決算

	26年度	27年度
国民健康保険	32億9565万円	38億5252万円
簡易水道	1126万円	1448万円
公共下水道事業	8億9614万円	8億9075万円
漁・農業集落排水事業	7739万円	8064万円
介護保険	24億2021万円	24億7280万円
後期高齢者医療	2億8207万円	2億8311万円

陽谷駅周辺整備事業完成

陽谷駅周辺整備は、平成18年度から、中心市街地の活性化や印象的なシンボル空間設置を目的として整備を進め、28年8月に完成しました。

町道陽谷駅北口線など整備

道路延長315m、幅員20mに照明灯13基を擁する玉砂利舗装の歩道を両側に設置。

1億9203万円

高校跡地造成

JRとの用地境界にし型擁壁や横断排水を設置、土砂の搬入などの高校跡地グラウンド部分を造成。

1億8451万円

陽谷駅自由通路

橋長31m、有効幅員3m、15人乗2基のエレベーターを設置。

6億4712万円

駅前広場・駐車場

南北2100mにタクシールールやバス乗降場、31台分の駐車場や駐輪場を整備。

3億177万円



ロータリーができた陽谷駅

コミュニティ施設

延床面積131㎡の木造平屋建てで外装はペンガラ調漆喰、ふれあい処と多目的トイレを設置。

5449万円

総事業費は、14億665万円。そのうち補助対象事業分は12億1470万円、町単独事業分は1億9195万円です。

(10月4日現在予定額)

監査委員決算総括

国内の経済状況は緩やかな回復基調をされるものの、今後における町の行財政運営は依然として厳しい状況にあると言わざるを得ない。

いよいよ本格的な人口減少に突入し、特に生産年齢人口の減少と急激な高齢化が予測され、これが行財政運営を圧迫するものと考えられる。このような状況の中、歳入は国や県などの依存財源の確保と地方税等の自主財源の確保・充実、収入未済額の更なる縮減に最大限努める一方、歳出は、各施策や事業の緊急性、必要性、有効性、経済性等を見極めた上で、限られた財源の効率的・効果的な経費支出を図ることにより、「最小の経費で最大の効果を上げる」ことが今まで以上に求められる。

今後においても、社会経済状況を見誤ることなく的確に読み取り、組織の現状分析・改善と町民福祉の向上に努められたい。

欠員の教育長の任命同意議案

採決の結果 **8 対 7 で可決**



新教育長に任命された
堀 仁一郎氏
(豊岡・是城)

4月から欠員となっていた教育長に、日出中学校校長、県教育庁生徒指導推進室長、大分教育事務所長など歴任の堀仁一郎氏(昭和28年生)が新たに任命されました。

岡山	上野	金元	川西	土田	森	佐藤	熊谷	衛藤	阿部	岩尾	池田	工藤	安部	佐藤
栄蔵	正生	求一	亮治	昭人	隆信	健作	清隆	真二	幸六	淳子	健次	三郎	二郎	二

【反対者】

【賛成者】

【予算委員会】

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1億1452万7千円を追加、補正後の予算総額は101億3029万3千円となります。

【主な歳出】

防災行政無線整備

平成29年度に予定していた防災行政無線の整備計画を前倒し、薄尾・西の二・一北・赤松に子局、今畑・清水・沼津地区に個別受信機50個を設置します。

3031万円

移住・定住促進

県補助金を活用し、町内への移住促進を図る事業で、移住者増加による移住支援補助金の増額や移住定住促進の非常勤専門員の設置、都市圏で行われる「移住フェア」への参加経費などの費用です。

726万円

漁業振興対策

下水処理の豊岡浄化センター協定書及び大神漁業集落浄

化センター協定書に係る解決金で、漁協に対し、豊岡地区分400万円、大神地区分200万円です。

600万円

農地災害復旧

4月の熊本・大分地震による災害で、南端高平地区の農道を復旧する費用です。

200万円

6月豪雨災害復旧

仁王農道、片原津水路の災害復旧を行い、また町道南北線、藤原安養寺井手線、上深江^{はじやま}蘆山線の3路線を整備します。

1500万円

小中学校エアコン設置

今夏、豊岡小学校の5教室と大神小学校6教室にエアコンを設置しましたが、来年度から順次各学校ごとに設置を進めるため、まず日出中学校と大神中学校の実施設計委託を行うものです。

459万円

安心・安全まちづくり

防災倉庫を2力所(川崎体育館・団地集会所)に設置します。

文化財保護

南端地区にある西嶋精舎跡の石碑が、熊本・大分地震の際に倒壊し、復旧するための修繕費です。

65万円

217万円



地震で倒壊した西嶋精舎跡の石碑

予防接種

10月から1歳未満の乳児を対象にB型肝炎ワクチン予防接種を定期(3回)接種化します。

106万円

308万円

ふるさと納税強化対策

ふるさと納税(寄附金)の取り組みを強化するため、寄附者に対する謝礼品返礼業務を委託します。

250万円

体育施設管理

川崎体育館トレーニング室のコードレスバイク2台を更新します。

116万円

町立図書館備品整備

町立図書館が所蔵する貴重本・希少本等の展示ケースを2台設置します。

144万円

【主な歳入】

地方交付税の増額分、国の補助金、前年度繰越金・財政調整基金繰入金で財源調整します。

消防団員安全装備品の雨衣を全21部にそれぞれ5着、本部10着、計115着を配布します。

消防団装備充実

意見書提出

返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める

奨学金利用者は、2016年度大学生らの約4割にあたる132万人と増加傾向にある一方、非正規雇用などによつて卒業後の収入が安定せず、奨学金の返済に悩む人が少なくありません。

現在OECDに加盟する34カ国のうち、給付型奨学金制度がないのは日本とアイスランドだけです。

よつて政府においては、納税者である国民の理解を得つ、学生が安心して勉学に励めるよう、返済不要の「給付型奨学金」の創設や無利子奨学金の拡充など具体的な経済支援策に取り組むことを強く求めます。

地方財政の

充実・強化を求める

子育てや医療・介護などの社会保障、被災地復興環境対策、人口減少や地域交通整備

への対策など地方自治体の財政需要は増大しています。予算確保、地方交付税や地方税制度の充実などこれに見合う地方一般財源総額の確保は、市町村の財政運営に不可欠であるため、2017年度予算において、社会保障の充実、地方財政の確立を求めます。

「隠しカメラ設置」の真相究明を求める

大分県警別府警察署が別府地区労働福祉会館の施設敷地内に許可なく隠しカメラ2台を設置したことが明らかになり、撮影した映像は個人の顔が識別できるレベルでした。

今回の隠しカメラ設置は、別府地区労働福祉会館関係者や労働団体のみならず、多くの住民に不安を抱かせるものであり、肖像権・プライバシーの侵害として、決して看過することのできない違法な行為です。よつて大分県公安委員会に対し、真相を明らかにするとともに、事件の再発防止策を講ずるよう強く要望します。

議会運営委員会 【先進地視察研修】

期間 7月12日～14日

場所 青森県

目的 議会運営と議会の活性化を先進地に学ぶ

▼黒石市

青森県のほぼ中央に位置する人口3万4千人、黒石りんごの産地として知られる城下町で、田園観光産業都市を目指しています。しかし20年度決算から自治体健全化法に基づき早期健全化団体となっています。健全化法の適用に至った経緯は聞くに及ばなかったものの施設建設のための多くの起債が要因であると考えます。予算・決算審議の重要性を改めて実感しました。

▼五所川原市

津軽平野のほぼ中央に位置する人口5万6千人、黒石市とは対照的に、比較的財政が安定した町です。議会のインターネット中継を初期費用890万円、保守費用年間180万円をかけて実施して



タブレット端末を体験

いますが、視聴件数が低迷していることから、ネット中継にはやはり限界があるという印象を受けました。またタブレット端末を導入し、ペーパーレス会議を実施していますが、システム使用料が紙削減効果を上回っていることから、今後、費用対効果の検証が課題ということでした。両者とも日出町議会への導入には時間をかけて今後じっくりと調査し、協議する必要があると考えます。

常任委員会

総務産業

議案等の審査結果

地区計画内の建築制限

「日出町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例」における公益上必要な建築物の特例の許可条件を一部改正し、今後さらに、住環境と調和の取れた健全な都市空間を確保します。

浄化センター耐震

浄化センター管理棟と塩素混和池の耐震補強・長寿命化工事を1億3千万円で日本下水道事業団と工事委託の協定を締結します。

三菱自動車の燃費不正

燃料試験不正行為に該当する軽自動車4車種が、27年度グリーン化特例により減税されていた軽自動車税の差額分を、三菱自動車第3者納付します。日出町の対象は44台。

投票所の改善

8月に行われた町長選挙の総投票率が58・5%、特に多くの有権者を抱える投票所が

低調でした。

豊岡小学校	44・5%
川崎体育館	44・0%
内野区公民館	42・9%
日出中央公民館	43・2%
保健福祉センター	41・7%

また、18・19歳の投票率も40・2%と低投票率です。期日前投票所の増設を含めて、投票所の改善など投票率の向上にしっかりと取り組むよう求めました。



糸ヶ浜海浜公園にパークゴルフ場を整備

平原三尺山線の舗装補修

(株)大総との産業廃棄物処理場にかかる協定書に基づき、町道平原三尺山線の起点平原から終点軒ノ井までの2km区間を(株)大総の費用全額負担で舗装補修を行います。施行管理は町が行い、業者と地元との協議が整い次第、工事を始めます。

企業誘致

●大阪市に本社を置く東和運送(株)が1億円を投資し、川崎工業団地北側4千㎡に事務所と倉庫、給油設備など整備し進出します。
●別府市で印刷業を営む平和商事(株)が、工場建物内の820㎡に本社と工場を移転します。

税務職員の相互派遣

収納率向上のため、市町村の税務職員を相互に派遣し、滞納整理を行う町村間相互併任を検討しています。市町村には、県税職員が派遣され、情報の共有や滞納整理基準の改善を指導し、徴収強化に取り組めます。

請願の審査

大分県地方自治研究センター・中山敬三氏から提出の「地方財政の充実・強化を求める意見書の採択に関する請願を全会一致で採択し、国に意見書を提出します。」

閉会中の審査

7月29日開催

防災計画の見直し

現在の計画は、自主避難における避難所開設や運営、防災士との連携など不明確な点があり、また、大きな地震が2度連続して起こった場合の対策が明示されていません。
住民や職員の行動基準を明らかにするため、自主避難を含めた避難所運営マニュアルの作成が急務です。

請負契約の変更手続きの簡素化を要請

現在は条例により、予定価格5千万円以上の工事又は製造の請負に対して議決を要するとされています。その請負に対する変更が生じた際にも議会の議決が必要となることから、臨時議会を開催するか

定例会まで変更契約ができず、工事の中断や工期または支払いの遅延など業者への負担が生じる場合があります。「軽微な変更の契約に関しては、議決を要しないようにすべきでは」と委員会から発信しました。

柏川・今畑地区の太陽光発電

計画面積75haのうち21haは町有地を賃貸する計画であること、また、町が管理する河川に施設設置面の雨水を流す計画であることから、防災に関する指導や災害時の対処住民説明会など町が積極的に関与し、責任を持つべきではないかなど要請しています。

福祉文教

議案等の審査結果

条例の一部改正

日出町国民健康保険税

日本と台湾との間で二重課税を回避する等の措置を講ずるため、日台民間租税取決めが締結されたことを受け外国

居住者等の所得に対する相互主義による所得税等の非課税に関する法律の一部改正に伴い、必要な改正を行います。

日出町ひとり親家庭等医療費助成

児童扶養手当法の一部が改正されたことを受け、平成28年8月から加算額が増額されます。具体的には第2子・月額5千円が最大で1万円に、第3子・月額3千円が最大で6千円となります。また、29年4月から、子どもが2人以上の場合の加算額にも物価スライド制が適用されます。

ハローキティ絵柄住民票

住民票

(株)サンリオエンターテイメントと合意後に、従来の住民票に加え、希望に応じてハローキティの絵柄入り住民票の交付を行います。絵柄入り住民票の交付手数料は通常300円にライセンス料等を含んだ

100円を上乗せし、400円となります。

国外犯罪被害者に配慮

国外犯罪被害者弔慰金等の支給に関する法律が施行されたことに伴い、国外犯罪被害者又はその遺族の戸籍に関し、無料で証明を行うため、手数料条例を一部改正します。

閉会中の審査

7月19日開催



利用しやすい体育施設に

町内体育施設の現地調査

安養寺グラウンド、黒岩グラウンド、川崎運動公園の現地調査を行いました。日出町は、スポーツ全般が盛んな町でもあり、野球・ソフトボール・サッカー等での使用頻度が多いため、芝の育成状態が非常に悪くなっています。また、照明付きのグラウンドも少なく、町民の皆さんの苦情も多いことから、改善を要請しました。

フッ化物洗口

今後、保護者向けの説明会を県の体育保健課、歯科医師会の代表も同席し、開催します。また、これまで先進地の事故の事例はなく、費用は一人につき年間約400円で、強制ではなく希望者のみの実施となります。

交流広場一時預かり室

開所日数に対して利用日数が少ないことから、今後はもっと利用者が増えるよう、啓発や宣伝を行っていき、実績や実態を把握しながら今後につなげるよう検討します。

【議会改革特別委員会】

ケーブルテレビ

議会生中継

町民の皆様へ開かれた議会と情報の提供を行うことを目的に昨年から調査・協議を重ねている議会中継は、CTBメディア株の中継設備環境整備ケース①～⑥（※表1参照）別に必要な費用を、また日出町におけるケーブルTVの普及率/カバー率を参考に更なる協議を行いました。現在、日出町のケーブルTV普及率は42.0%/カバー率は77.8%であり、全世帯をカバーするには8億8千万円の環境整備費用が必要であり、予算的・物理的に大きな課題が浮き彫りになりました。地域間格差を解消するためにはどのような施策や技術が考えられるか、今後、引き続き当委員会にて研究を重ねます。また、町民の皆様からの声を聞き早急に方向性を提示していきます。

※表1

No.	伝送装置	高画質カメラ	テロップ(字幕)	マイク	場内大型画面(残時間・出席数)	電子投票	操作人員	見積金額(税抜)
①	○	×	×	既存	×	×	2人	約840万円
②	○	○(3台)	○	既存	×	×	2人	約1,590万円
③	○	○(3台)	○	○	×	×	1人	約2,530万円
④	○	○(3台)	○	○	○	×	1人	約2,680万円
⑤	○	○(3台)	○	○	○	○	1人	約2,920万円
⑥	○	○(3台)	○	○	○	○	1人	約4,340万円

① 既存の機器を使用し、伝送装置のみを設置/② マイクはそのまま、カメラを高画質に交換しテロップ(字幕)装置を付加/③ カメラ、マイクとも交換しテロップ(字幕)装置を付加/④ カメラ、マイクとも交換しテロップ(字幕)装置および場内に大型画面を付加/⑤ カメラ、マイクとも交換しテロップ(字幕)装置および場内に大型画面、電子投票を付加/⑥ ⑤と同様の内容で基幹システムをAMX(アメリカ)社製を起用

議会基本条例に基づく各種団体との意見交換会

総務産業委員会

今年4月発生した熊本大地震や8月で岩手豪雨災害を受けて、実効力のある防災計画や避難準備、災害初動や各種団体との連携が課題となつていきます。そこで今年度は、日出町防災士会(会長池辺長行氏)と意見交換会を実施し、防災士の方々はもちろん、自主防災組織や消防団、区長会との相互の協力・連携体制や避難訓練を含めた防災意識の確立などについて意見交換を行います。

福祉文教委員会

急激な高齢化の進行や世帯構造の変化、住民が有する生活課題の多様化、深刻化のなか、民生・児童委員の役割や期待が一層大きくなつていきます。一方で、負担の増加にもつながっていることから、民生・児童委員と意見交換を実施し、行政との連携・支援の強化に取り組めます。

議案質疑を通告制に

これまで議案質疑は、提案された議案に対して本会議場で執行部に不明確な点を質していました。一般質問と混同したり、執行部の細部にわたる答弁ができなかったりする場合がありました。そこで質問側、答弁側とも明確な議論となるよう今回から通告制とし、議案質疑をより充実するよう制度変更しました。

町村議会研修

9月1日、玖珠町、九重町、姫島村と合同で、町村議会議員研修会を開催しました。講師に山梨学院大学教授江藤俊昭氏を迎え、「議会改革の到達点と今後の課題」と題して住民自治の根幹としての議会の作動とその条件について講演していただきました。質問時間には活発な議論も展開され、終了後の懇親会では他町村と地方行政の現状について意見交換を行いました。

◆ 10人が一般質問 ◆

- 1 岡山 栄蔵 議員**
 1. 義務教育終了までの医療費無料化
 2. 産婦人科の誘致
- 2 工藤 健次 議員**
 1. 町政の重点施策は
 2. 選挙戦の公約
- 3 阿部 真二 議員**
 1. 子ども医療費無料化に対する財源は
 2. 学校教室にエアコン設置
- 4 岩尾 幸六 議員**
 1. 緊急避難所の整備
 2. 町内駅の利活用
- 5 池田 淳子 議員**
 1. 産婦人科誘致
 2. 給付型奨学金
- 6 佐藤 隆信 議員**
 1. 医療費の無料化
 2. 町の農林水産業の取り組み
- 7 川西 求一 議員**
 1. 南端小中学校の今後に対して早急に対応を
- 8 森 昭人 議員**
 1. 実効力ある防災計画のために条例整備を
 2. 日出町総合計画
- 9 熊谷 健作 議員**
 1. 子ども虐待、日出町の実態は
 2. バスの運用
- 10 金元 正生 議員**
 1. 教育現場の事務作業の改善を
 2. コミュニティバスの有効利用

一般質問

町政を問う

9月定例会では、10人の議員から町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。



岡山 栄蔵 議員
(川崎地区)

問 義務教育終了までの医療費無料化の実現は

答 早い時期の実現を目指します

問 今回の選挙の公約で義務教育終了までの医療費無料化を掲げていましたが、目標にしている時期は。

町長

これまで議論を重ねてきた経過もあると聞いています。必要なときに必要な医療が受けられるようにするとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、早い時期の実現をしていきたいと考えています。

産婦人科誘致

問

子育て・少子化対策で、子どもを産み育てやすい環境づくりと中高年女性の婦人科の検診、健康維持のため、日出町に産婦人科病院施設の誘致

という公約はどのように進めていきますか。

町長

産婦人科医を誘致するには、なかなか困難な状況にあります。国・県等との連携を強化して、さまざまな方策を探りながら取り組んでいきたいと思っています。

子育て満足度大分県一

問

急速な少子化の進行は、将来の社会経済全体に極めて深刻な影響を与える懸念され、少子化の問題は、私たちが取り組まなければならない最も重要な課題です。どのような考えで選挙公約として子育て満足度大分県一を掲げたのですか。

町長

核家族化の中で、夫婦が子育てしやすい環境を整備することで、安心して子育てに励み、2人目、3人目を安心して産んでほしいという思いで、子育て満足度大分県一を目指したいと考えました。

一次産業

問

今回の選挙では、対話というフレーズをよく耳にしました。各地域・団体・一次産業従事者等との対話は、今後どのようにしていくのか。

町長

町民の声が反映される町政を目指したいと訴えました。現状を正確に、客観的に把握できなければ、対策や処置はできないと考えています。対話の重要性はいうまでもなく、現場にも積極的に足を運び、直接確かめ、聞き手になって皆さんと問題を共有したいと考えています。

町三役の退職金廃止

問

町三役の退職金を廃止して政策に充てられる金額は。

町長

町長1642万円、副町長758万6400円、教育長588万円。総額2988万6400円です。



早急に義務教育終了までの医療費無料化を

質問を終えて

町民との対話を大切にし公約の早期実現を期待します



工藤 健次議員
(大神地区)

問 町政の重点施策は

答 安心と活力あるまちづくりの実現です

問 重点的に行うとしている課題は。

町長

安全のまちづくりは、生活環境づくり、子育て支援、福祉と教育環境の充実です。活力あるまちづくりは、中小企業の活動支援、農林水産業の支援、企業誘致、健康づくりなどの推進を行います。

選挙戦の公約

問

子ども医療費の無料化と財源は。

町長

子育てをする保護者の経済的負担の軽減を図る観点で関係機関と協議をして任期中に行います。財源は私の退職手当の廃止分を充てます。

問

給付型奨学金の基準や規模、財源は。

町長

保護者の所得が、一定程度以下であるとして、入学時の一時金を想定しており、予算、対象者等の関係もあり、試算はしていますが検討の段階です。

エアコン設置

問

学校のエアコン設置の計画と財源は。

町長

豊岡、大神小学校の一部教室に設置が完了してテスト運用しています。今後、中学校2校を平成29年度、小学



活力あるまちづくりを目指します

校5校を30、31年度に設置していきます。

教育総務課長

財源は国からの交付金、起債、残りを単費と考えています。

産婦人科誘致

問

産婦人科の誘致は。

町長

産婦人科医の減少する原因が、訴訟や労働条件等が厳し

いことは承知をしています。が、私の人脈を生かし、情報収集をして取り組みます。

高齢者対策

問

高齢者、介護等の支援充実

町長

医療と介護の両方を必要とする高齢者に、在宅医療と介護サービスが連携して一体的に支援する在宅医療介護連携推進事業を進めます。

問

行財政改革は。

町長

選択と集中という考え方をもちて予算を編成します。政策の財源を少しでも補いたいので、三役の退職金の廃止分を充てたいとしています。が、その他はまだ具体的には考えていません。

質問を終えて

公約が1日も早く実現できるよう、最大限の努力を



阿部 真二 議員
(大神地区)

問
子ども医療費無料化
に対する財源は

答
財源を公約に沿い編
成します

問

町長は義務教育終了まで医療費無料化を掲げていますが、そのための財源はどのように捻出しますか。

財政課長

全て一般財源で賄うことになっており、特別職の退職金等もその一端となります。

問

退職金は任期を終えたときに発生するのであって任期4年間の中で実現できますか。

総務課長

現在、豊後大野市等の7市町村と大分県消防等補償組合からなる6つの一部組合で構成される大分県退職手当組合に加入し、5年サイクルで負担金を算出し納めているため、実現できれば平成32年からの負担金の金額に対し特別

職の退職金分が減額されることとなります。

財政課長

子ども医療費は全て町の一般財源で賄うことになっているため、来年度の当初予算編成で既存事業の見直しを行い、できるだけ町長の公約に沿った形で編成します。

産婦人科誘致

問

産婦人科医誘致の具
体策は。

町長

大変厳しい政策であると承知しています。県、国との連携を強化する中で情報を収集しながらしっかりと取り組



エアコンの設置が進む学校

みます。

介護の体制づくり

問

安心できる介護の体制をどのように構築しますか。

町長

既に実施している事業もありますが、できるだけ早く行います。

問

「できるだけ早く」を具体的に

的な期間で示せますか。

健康増進課長

第7期の高齢者及び介護保険計画を来年度に向けて策定します。その中で地域包括システムの具策策を入れて計画に移します。

エアコン設置

問

学校の教室にエアコン設置とありますが、いつまでにどの範囲を行いますか。また、その維持管理費は。

教育総務課長

全校設置は31年度までに実施します。維持費は1台あたり月額7500円を見込み、総数144台として1カ月あたり108万円となります。エアコン使用期間を6〜9月の2カ月半として1年間で270万円が必要です。

●その他町長の選挙公約について質問がありました。

質問を終えて

選挙公約の早期実現を



岩尾 幸六 議員
(川崎地区)

問 緊急避難所の整備の内容は

答 簡易防災倉庫の設置を計画します

問

町長が公約に掲げている「防災に強い町づくり」とはどのような町づくりですか。

町長

自助・共助・公助の体制を整えるため自主防災組織の整備、消防団や防災士等の様々な機関、団体と連携できる体制の整備、避難所や防災情報の連絡ツールといったハード面の整備が必要と考えています。

問

日出町の沿岸部は、津波危険地域が多くあり、津波対策の防波堤の強化などの考えはありますか。



災害への備えが必要

町長

津波対策は、「逃げる」ということが一番大事である

め、まず避難路の整備を考えています。堤防の整備はその次だと思っています。

問

津波避難対象地区の避難所へ向かう道路が狭かったり、遠周りになるなどの地区があります。避難路の整備計画はいつから行いますか。

総務課長

地域防災計画に基づき、津波の一時避難所43カ所に向かう避難路は、随時整備をしていきたいと考えています。

問

現行の職員体制では、防災関連業務が手薄になると危惧するのですが防災専門の「危機管理課」設置をどう考えていますか。

町長

防災の専門部署の必要性は十分理解しています。効率的な行政組織を考えながら引き続き検討します。

町内駅の利活用

問

陽谷駅が8月にリニューアルしました。利用者や町外の

方へアピールするため、着駅メロディーを流すことはできませんか。

政策推進課長

JRに確認したところ、着駅メロディーは可能で、費用もさほどかからないとの回答がありました。現在のところ設置は検討していません。

問

日出駅前広場からトイレが撤去されて10数年経ちますが、再度設置する計画はありますか。

財政課長

駅前広場にトイレは設置されていましたが、駅舎をホーム位置に移設をする際、ホーム内にトイレを新設し、駅前広場のトイレは撤去しました。新たにトイレを設置する必要性や住民ニーズがあるか、今後、調査・検討をする必要があると思っています。

質問を終えて

陽谷駅の着メロ、日出駅に公衆トイレの設置を前向きに検討して頂きたい



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問 産婦人科誘致の具体策はあるのですか

答 まずは情報収集に取り組みます

の方策だとは思いますが。

給付型奨学金

問

町長が掲げた給付型奨学金の利用を希望する人の定員や学力、保護者の所得の基準は設けますか。

町長

経済的支援が必要な家庭を前提と考えていますので、一定の所得を基準にしたいと思っています。定員や学力の基準を設けるかは制度設計で検討したいと思っています。

投票率向上に向けて

問

今回の町長選挙までどのような具体的な対策をとりましたか。

総務課長

18歳、19歳の新有権者549名に対して、選挙の大切さや重要性を認識してもらい、投票に行ってもらえるような啓発文書を送りました。また、投票への呼びかけの協力依頼を区長へお願いしました。

問

投票日当日、コミュニティバスを運行しては。

総務課長

限られた台数での運行になるので、乗車場所や運行ルートなど課題が多いと思います。

食品ロス

問

食べられるのに捨ててしまう食品のことを食品ロスといいますが、町では食品ロスを減らすための取り組みを行っていますか。

教育総務課長

給食センターでは栄養バランスのとれたおいしい給食を提供しています。その結果、前年比15%以上の残菜減量化が毎年達成できています。給食をつくる段階では、食材

が無駄にならないよう厳しいチェックをしています。また残菜は捨てるのではなく、生ごみ処理機で肥料にしています。



食品ロスロゴ（農林水産省）

質問を終えて

町長の任期4年間公約の実現に期待します



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 中学校卒業までの医療費の無料化を来年度から実施する考えはありませんか。

答 できるだけ早く実施したいと思っています

問 中学校までの医療費の無料化を来年度から実施する考えはありませんか。

町長 限られた予算の中で事業の見直しを行い、できるだけ早く実施したいと思っています。

問 病児・病後児保育の実施は、受け入れ病院に対して支援することでも可能になると思いますが支援をする考えはありますか。

町長 関係医療機関には、支援をしていきたいと思います。

問 杵築市の病院でも引き受けられますか。

町長 杵築市の病院であっても、

町長 必要とあれば新しい体制を作っていくこともあると思います。

中小企業支援

問 中小企業へのどのような支援ができるか、アンケート調査や聞き取りが必要だと考えますが。

町長 事業の拡大と新規事業に取り組み事業者に支援を行いたいと思います。また行政に何を求めているのか、どんな問題を抱えているかなど、実態を把握することも重要だと考えています。

農林水産業に対する具体的な取り組み

問 日出町の農業は面積も少なく、国の目指す大型農業の進だけでは難しいと考えています。家族経営を中心として、営農集団や法人化など組み合わせた農業が必要だと思いますが、町長の考えは。

町長 日出町もそういう農業形態が多くなるとなっています。そのため支援が必要になっていくと考えています。

問 儲かる農業、またブランド品を作るための新たな体制が必要だと思いますがどう考えていますか。

防火水槽の点検

問 防火水槽の点検、見回りは行っていますか。

総務課長

年1回杵築速見消防組合と消防団の各部署で点検、見回りを行っています。



年1回点検している防火水槽

熊本地震などの後には、点検が必要だと思いますが行いましたか。
総務課長 防火水槽の点検は行っていますが、必要だろうと理解しています。

質問を終えて
町長は公約を町民に伝えること



川西 求一 議員
(豊岡地区)

問

南端小中学校の今後に
対して早急に対応を

答

地域の声を聞き、地区
活性化に寄与します

問

28年4月から南端中学校が
休校となり、合わせて、南端
小学校も休校となりましたが、
具体的な管理状況はどのよう
なっていますか。

教育総務課長

施設内での常駐はいたしません
が、学校施設、設備はいつで
も使用できるように管理に努め
ています。鍵の管理は教育委
員会で行い、定期的な点検の
ため学校に出向いています。
体育館の使用受けは豊岡小
学校で行い従来どおり貸出し
を行っています。

問

校舎周辺の雑草処理や、学
校施設全体は少しでも放置す
ると廃墟化となる恐れがあり
ます。管理を予算化し、地域
の皆さんと協議を行ったうえ、

お願いしてはごうですか。

教育総務課長

適正な維持管理ができるよ
う再度方法等を確認して実施
していきます。

問

地域コミュニティの
場としての利活用の状
況は。

政策推進課長

昨年度から月1回、
まちづくり協力隊によ
る南端地区ふれあいサ
ロンを地区公民館で行
ってきました。今年度
からは4月の休校を受
けて、南端地区のコミ
ュニティの拠点として、
小中学校で行っていま
す。料理教室・健康講
話・スポーツ交流など
各種イベントを通じ、



休校になった南端小中学校

地域住民の交流を図る場所と
して活用していきます。

問

教育委員会は、今後、南端
小中学校について、豊かな自
然を生かした教育施設として、
学校再開を積極的に進めてい
く考えはありますか。

教育総務課長

今の学校施設を教育施設と
して利用するか、他の利用が
あるのかなど、地域の意見を

問

聞きながら活性化につながる
施設として検討を行ってい
かなければならないと思います。

早急に地域の協議会等を立
ち上げ積極的に要請を行って、
地域・町長・教育委員会等
による協議の場を設けて、今
後の南端小中学校のありかたを
協議すべきと思いますが。

町長

真に南端地区の活性化に寄
与する形での利用になるよう
に、地域の皆さんのご意見を
聞き対話の場を作っていく
と考えています。

質問を終えて

歴史ある地域の学校の大き
きな変化、まずは地域の
真の声を聞くことから



森 昭人 議員
(日出地区)

問 実効力ある防災計画のために条例整備を

答 災害対策基本条例を調査・研究します

問 昨年度に策定した日出町地域防災計画は、直下型の大地震が連続して発生することを想定していません。また、地震被災後の初動マニュアルや業務継続計画も整備されていません。個々の計画策定を義務付ける災害対策基本条例を制定し、防災対策における実効力を高めるべきですが。

熊本・大分地震を受けて地域防災計画の見直しは早急に行わなければならぬと考えています。災害対策基本条例は、まず策定自治体や近隣自治体の状況調査

を行います。

問 総務課に防災担当が3名いますが、防災以外にも複数の事務を兼務しています。現在のこの体制では、実効力のあ



実効力のあるものに

る種々の災害対策に対応できないと考えますが。

町長 総務課だけでなく、現行の組織・機構を検証する必要があると考えています。住民サービスが迅速・的確に行われるよう効率的な組織を考え、人員の配分を考慮しながら検討していきます。

問 日出町総合計画の策定根拠と実効性

現在、地方自治法の改正により総合計画策定の義務はありません。また、これまでの総合計画には実行計画もありませんでした。策定条例を制定するなど法的根拠を明らかにし、実効力のある総合計画を策定すべきですが。

町長 策定中の第5次総合計画は過去3回にわたり審議会において有識者から意見を聞いています。この素案をベースに私の考えるまちづくりの理念を加えていきたいと考えています。日出町の最上位計画と

いう認識にたち、いま少し時間がかかりますが、できるだけ早期に提案したいと考えています。

問 太陽光発電設置に防災面から指導・履行義務

土砂崩れなど風水害の危険があるとされる地域での太陽光発電施設設置では、地元住民の大きな不安から問題となり、設置要綱も拘束力がないのが現状です。町が安全に関し積極的に指導し、業者が履行する体制を整えるため、防災という観点で条例を整備すべきと考えますが。

町長 民と民の間に入るの厳しいと考え、防災から太陽光発電施設を捉えるのはどうなのかと感じています。現在、関係課は、地元などと業者の間に入るというほどではありませんが、一緒に考える中で取り組んでいる状況です。町がどの程度関わられるか、引き続き検討していきたいと考えています。



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

問 子どもの虐待、日出町の事態は

答 要保護児童として40人近く登録されています

問

学校や病院などからの通報・相談は機能されていますか。

福祉対策課長

情報共有しています。特定妊婦等の支援が必要な方には産婦人科や小児科医院と連携します。

学校教育課長

虐待の疑いがあれば校長がすぐに教育委員会にあげ、家庭相談員・児童相談所に連絡・相談します。

問

ネグレクト等の情報が入らない場合の対応は。

福祉対策課長

在宅の幼児の虐待の確認は今後も情報収集が課題です。

問

対象児童の一時保護はどの

ように。

福祉対策課長

一昨年から児童養護施設と委託契約を結んでいます。

問

養育支援訪問事業、子育て短期支援事業の取り組みは。

福祉対策課長

保健師、児童心理士の家庭訪問等の支援を行っています。

問

保護措置解除後の継続的な支援は。

福祉対策課長

児童相談所を中心に長期的な見守りが必要で、市町村間の情報共有も検討していかなければなりません。



研修バスの幅広い運用を

バスの運用

問

コミュニティバスの運行経路に利用者の声は反映されていますか。

政策推進課長

アンケート等で意見を聴取しています。

問

バスの中にアンケート用紙を配布しては。

政策推進課長

要望だけでなく利用実績も重視しています。

問

亀川の医療センターへのバスが1便しかありません。増便の方策はないのですか。

政策推進課長

乗客が少ないことと補助金の対象路線でないのが課題です。引き続きバス会社に要望はしていきます。

問

研修バス「陽谷号」の幅広い利活用を期待します。古くなったバスの買い替えの予定は。

財政課長

購入後19年が経過しています。更新の時期を検討します。

質問を終えて

研修バスの運用は子どもからお年寄りまで柔軟な対応を



金元 正生 議員
(日出地区)

問 教育現場の事務作業の改善を

答 積極的に推進していきたいと考えています

ていきたいと考えています。

校舎周辺作業

問 樹木や草刈り作業は傾斜地が非常に多いため、危険個所を調査し、予算化して、委託

買い物弱者対策

問 高齢化が加速するなか、買い物弱者の取り組みは。

政策推進課長 現在、運行しているコミュニティバスの有効利用を検討したいと考えています。

問 県は小規模集落事業を拡大

しており、町内76地区で該当する地区も多いため早急な支援策を。

政策推進課長 高齢化率の高いところから

進めていきたいと考えています。

販売事業者

問 地域の買い物弱者を支える事業者や移動販売事業者の支

援策の検討は。

政策推進課長

今後、実態調査を行い、地域の特性や課題を把握して支援策を検討していきたいと考えています。

住民サービス

問 住民満足度の向上に向けた職員のスキルアップ、組織づくりの取り組みは。

総務課長

職員研修計画に沿って、段階的に、また必要に応じて全職員を対象に行っています。今年度は、外部研修機関への派遣推進を第一目標に、他市町村や県の職員と接して、町外の状況を把握することで、意識改革を図り、情報収集力、会話力向上の2つを目標として実施します。

●その他フッ化物洗口、給食センターについての質問がありました。

教育総務課長 学校側からも要望があり、効率的な事務作業を早期に実施できるように検討します。

町長 教職員の業務効率の向上につながるのであれば、積極的に推進し



栄養を考えた給食づくり

町民の 声

『地域の子は 地域で育てよう』



豊岡新町区
尾倉 俊一郎

「ただいまー」放課後、豊岡地区公民館に元気な声が響きます。十年以上続く放課後子ども教室の光景です。子ども達はまず宿題を済ませ、異年齢の友達と、鬼ごっこやボール遊びや百人一首等いろいろ工夫して楽しく過ごします。時には些細なことでケンカもありますが、すぐに仲直りできているようです。

また、地域の人と一緒に行う季節の行事も楽しみの一つです。四月には花祭り、花いっぱい飾られたお釈迦様に甘茶をかけ、お参りした後甘茶をいただきます。馴染みのない味に子ども達の反応は様々です。端午の節句では、粉まみれになつての柏餅づくり、柏の葉を初めて見る子もいたようです。七夕には、短冊に願いを書き飾り付けた後、婦人会の方にだんごの伸ばし方を習って、やせつま作り。夏休みには長い竹を使ったソーメン流し。なかなか家庭では出来ない事なので、皆大喜びで食べ過ぎたようです。十月には、六月に植え付けた芋ほり。今年

は大きな芋がたくさん収穫出来、それぞれ家に持ち帰り喜ばれたようです。最近人気のハロウィンパーティーも、みんな工夫を凝らして衣装を作り、館の中を順に、用意されたお菓子をもらって廻ります。人気のある新しい行事です。年末は保護者の方々参加のもちつきであんこ、きなこ、ポン酢のおもちに加えイチゴ大福、これは若いお母さん達の発想で感心しました。とてもおいしかったです。まだまだ紹介できない行事もたくさんありますが、このように子ども達がのびのびと活動出来るのも、日頃から教室に通ってくださる、見守りボランティアの方々、おやつ作りを指導していただいている、七十年の実績のある豊岡婦人会の協力のおかげです。

子ども達の放課後の安全を守り、遊びや、おやつ作りなどを通して、自主性、社会性、創造性を育てていけたら幸いです。子どもの笑顔は財産です。

議会を

傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。あなたの身近なこともありません。

簡単な手続で、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

12月定例議会の予定

- 11月24日 議会運営委員会
- 1日 本会議(初日)
- 議会運営委員会
- 5日 本会議(議案質疑・一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日~8日 常任委員会(予算)
- 9日・12日 常任委員会(所管)
- 13日 常任委員会(予算)
- 議会改革特別委員会
- 14日 全員協議会
- 議会報編集特別委員会
- 15日 議会運営委員会
- 19日 本会議(最終日)

編集後記



皆様、今回の議会日よりはいかがでしたか？この議会だよりは議員の互選により選出されたメンバーで構成される議会報編集特別委員会で、皆様にごすれば手に取って頂けるか、読んでいただくかを先進地の視察や研修を重ね作成しています。まだまだ認知度は低いと感じています。皆様に読まれ、議会の状況を分かりやすく伝えるべく、努力を重ねたいと思います。より皆様に親しんでいただける紙面をお届けするために皆様からのご意見やご提案をいただければ幸いです。

最後に今回の町長選で当選された本町町長の手腕に期待すると共に、より良い日出町創生に微力ながら努力したいと思っております。

(阿部 真二)

- 編集委員長 森 昭人
- 副委員長 土田 亮治
- 委員 池田 淳子
- 委員 上野 満
- 委員 阿部 真二
- 委員 岡山 栄蔵